

令和 6 年度 長崎市地域包括ケア推進協議会 第1回生活支援部会

長崎市地域包括ケアシステム推進室

議題 1

これまでの取組状況について

生活支援体制整備

生活支援体制整備～地域での支え合い体制づくり～

背景

- ・人口減少 ・少子・高齢化の進行
- ・一人暮らし・夫婦のみ高齢者世帯の増加
- ・認知症高齢者の増加
- ・地域のつながりの希薄化 など

課題

- ・介護人材の不足
- ・生活支援ニーズの増加
- ・介護保険ではカバーできないサービス
- ・地域での支え合い など

団塊の世代が後期高齢者となる2025年までに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、**介護保険法の規定による地域支援事業**の一環として、

生活支援体制整備事業（介護保険法：地域支援事業）

- 多様な主体との協働による地域の支え合い体制づくり
- 高齢者の社会参加による介護予防の促進
- 多様な日常生活上の生活支援や介護予防サービスの充実

協議する場の確保
【協議体】

介護予防・地域づくりの専門的視点でのコーディネート
【SC（生活支援コーディネーター）】

【多様な主体】

・地域住民 ・NPO ・ボランティア ・社会福祉法人 ・地域の各種団体 など

【日常生活上の生活支援】

在宅高齢者ちよとした困りごとへの支援（例：買い物・ごみ出し・電球交換など）

【SC（生活支援コーディネーター）】

高齢者の在宅生活を支援するため、地域の実情に応じて、地域住民相互の支え合い活動の推進役、専門的な視点でのサポート

【長崎市の取組み】 ～地域の自主的な活動を支援する体制整備～

- ・地域コミュニティの仕組みづくり ： 地域の自主的な活動を支援
- ・まちづくり支援担当職員による地域を支援する体制
- ・専門職のネットワークの充実

土台としての
地域力の強化

専門的
視点での
サポート（SC
配置）

地域
での
支え
合い

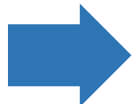
R 3 年度～ 協議体及び生活支援コーディネーター（S C）のあり方について

第1層
協議体



長崎市地域包括ケア推進協議会
(生活支援部会)

第2層
協議体



- ・地域ケア会議（含むネットワーク会議）
- ・地域コミュニティ連絡協議会の高齢者支援に係る部会等
- ・地域コミュニティ連絡協議会設立準備会

第1層 S C
(市全域)
市の担当課



- ・第1層協議体の開催
- ・第2層 S C の活動支援（連絡会の開催）
- ・多様な主体との協働による地域での支え合い体制に向けた取組
- ・全市的な地域資源の調査・把握・活用に向けた取組
- ・住民主体型訪問サービスの創設や高齢者版ファミサポの仕組みづくり検討

専任での配置

R 3 年度 複数圏域を担当する S C 配置（4 人）→ できる限り地域に密着した形での配置拡充へ

第2層 S C
(日常生活圏域)



- ①生活支援ニーズの把握
・第2層協議体への参加

- ・地域コミュニティ連絡協議会の部会活動との連携・伴走支援
- ・地域ケア会議に参加

地域コミュニティ連絡協議会設立済み

- ・地域ケア会議に参加
- ・地域コミュニティ連絡協議会準備会に参加

地域コミュニティ連絡協議会未設立

- ・地区民協、社協支部、老人クラブなどの地域の会議や活動への参加・地域訪問

②地域資源の把握・活用

③担い手の養成

⑤関係者間の情報共有

④地域活動支援

⑥会議等への出席

生活支援体制整備 ～地域での支え合い体制づくり～

高齢者自身の介護予防



つなぐ

結ぶ

生活支援コーディネーター（SC）

介護予防・地域づくりの専門的視点
で地域をサポート

参加

活動

役割
づくり

多様な主体との連携



・社会福祉法人等
の地域貢献

・地域住民
・NPO・ボランティア
・シルバー人材センター 等

緊急時・
災害時の支援

ごみ出しの
お手伝い

電球の交換

一緒に
買い物

集いの場
のお手伝い

高齢者の
社会参加の促進

見守り・声かけ

地域社会による支え合い

土台としての地域力の強化

～「他人事」ではなく「我が事」と考える地域づくり～
「地域コミュニティを支えるしくみ」による地域づくりの醸成に併せて
「地域の課題は地域で解決する」取り組みが進んでいる

生活支援コーディネーターが 『あったらよかね』の実現をお手伝いします！

たとえば

近くにご近所さん
同士が気軽に
集える居場所が
あったらよかね



たとえば

近所に足の悪い人が
多くて、近くに
買い物できる所が
あったらよかね



たとえば

スマホを使えるように
になりたいけど、みんな
スマホを学ぶ機会が
あったらよかね



南部担当 (C地区)
山口



北部担当 (D地区)
岩岡



西部担当 (B地区)
福田

仲間を集めて、公共施設や
空きスペースなどで
集いの場ができないか
話し合ってみませんか？

近くで仮設販売を
してもらえないか、
企業や商店に
働きかけます！

地域の学べる場を
紹介したり、
スマホ教室の講師と
おつながります

1 暮らしの上での困り事
や、『あったらよかね』を
お聞きします。

2 地域で活躍できる
場所や『活躍したか人』を
把握し、つながります。

3 地域での活動を見え
るようにし、足りないものは
作り出します。



東部担当 (A地区)
溝田

お問い
合わせ



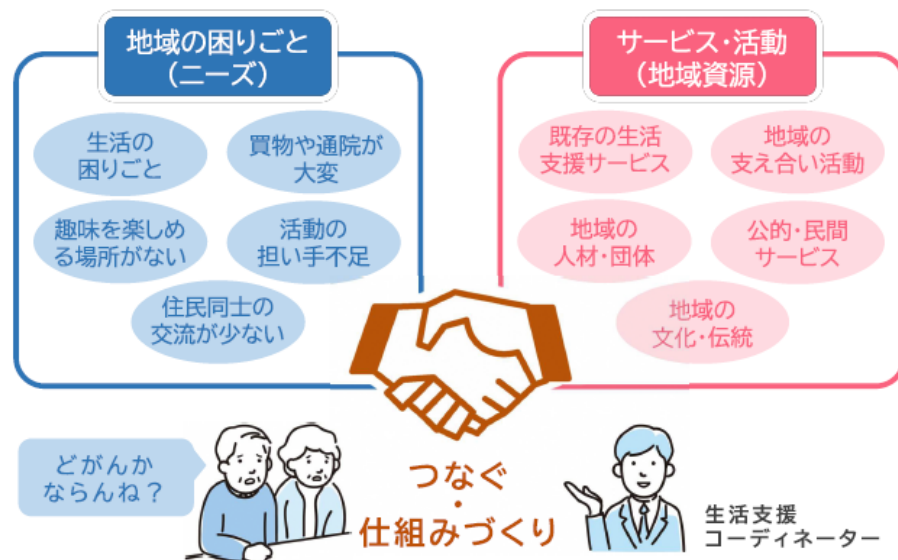
社会福祉法人 長崎市社会福祉協議会
長崎県長崎市恵美須町4-5 NBC3rdビル3階



095-828-1281



生活支援コーディネーターってどがんことばしよと？



地域の困りごとや課題があれば、それを解決できる生活支援サービスや地域の支えあい活動などの情報を提供します。また、課題を解決する活動が不足している場合は、解決のための仕組みづくりを行います。

つまり、地域住民のニーズ(地域の困りごと)に対して、サービス・活動(地域資源)のマッチング(つなぐ)や資源創出(仕組みづくり)をしていくのが、生活支援コーディネーターの役割です。

第2層(地区担当)生活支援コーディネーター担当区域一覧

名 前	担当エリア
みぞた さとみ 溝田 聡美	A地区 ①東長崎 ②日見・橘 ③桜馬場(東部) ④片淵・長崎 ⑤小島・茂木
ふくだ こうへい 福田 耕平	B地区 ①西部 ②岩屋 ③滑石・横尾(西部) ④三重・外海 ⑤琴海
やまぐち あいり 山口 愛莉	C地区 ①大浦 ②戸町・小ヶ倉 ③土井首(南部) ④深堀・香焼 ⑤南部
いわけが だいき 岩岡 大樹	D地区 ①江平・山里 ②西浦上・三川(北部) ③緑が丘 ④淵 ⑤小江原・式見



※地域包括支援センターの管轄エリアを基にしています

取組状況

活動取組み例

地域ケア推進会議や民生委員児童委員協議会においてSC周知に向けて講義



シニア向けTVゲームスポーツ無料体験会



生活支援体制取組状況

買い物支援

内容

長崎市 水の浦地区の住民に対し、社会福祉法人が送迎の空き時間を利用して近くのスーパーまで送迎を行う。参加者の調整は連合自治会が行う。

背景

- ・地域の高齢化が進む中、傾斜地で道路の幅員が狭い地域性もあり、車を手放したら一人で買い物が困難な住民の増加。
⇒連合自治会長から2層SC(社協)に相談があり、今回の活動を提案する。
- ・社会福祉法人は複数の介護保険事業を運営し、各事業所で福祉車両を保有。
⇒利用者の送迎がない水曜日10時～12時は車両がほとんど使われていない。

生活支援コーディネーター(SC)によるマッチング

実施までの流れ



<困りごと>
・傾斜地でバス停までの距離があるので歩いての買い物が大変

1 水の浦地区の住民

連合自治会長からSCに相談後、社会福祉法人に協力を打診する。
⇒立ち上げに向けた会議を定期開催

2



- ・令和6年1月17日より運行開始
- ・毎週水曜日に8人の利用者を送迎する
- ・運転手と介助スタッフ、車両などは社会福祉法人が負担し、利用者の費用負担は無い。
- ④・利用者に対する保険は、社協取扱の送迎補償サービスで対応。費用は連合自治会が負担



- ・関係者会議で出た意見をもとに、連合自治会の定例会にてSCが活動に向けての提案を行う。
- ・その後、連合自治会の協力により住民のニーズ調査の実施・分析、公共交通の事業所への挨拶、スーパーとの交渉などを行う。
- ③・3回のテスト運行を行い、利用者アンケートを通して、本格運行までの準備を進める。



ポイント

○社会福祉法人が地域貢献活動を検討しているタイミングで、提案できたことで実現した。
○タクシー協会からは民業圧迫にならないようにと意見が挙がっていたので、75歳以上という条件を定めて理解して頂いた。

作成物① 社協広報物「地域なんでも情報局」、「社協だより」

高崎市社協
マスコミ・イベント部 第48号



地域なんでも情報局

令和5年11月16日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市恵美須町4番5号
☎095-828-1281

水の浦地区



「昨日から買い物に行くのが楽しかった。」「みんなで行くって速足みたいだね。」送迎車に乗り込まれた参加者が楽しそうに語り合いながら、車はスーパードライヴに向かっていきます。

傾斜地の多い長崎市では、高齢者の移動に関する問題が全体的な課題になってきています。運転免許返納後の生活や病院に行けないと考える高齢者も多いことでしょう。

そのような中、長崎市社会福祉協議会水の浦支部では高齢者の買い物支援活動である「水の浦地区お買い物バス」の運行を目指しています。

この活動は地区内にある社会福祉法人 長崎厚生福祉団の協力のもと、施設が保有する



生活支援コーディネーター
(福田 耕平)

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

「楽しみに待ってましたよ！」と笑顔で乗り込む皆さん。その後、約40分間の買い物を終え、満足気な表情で買い物を終えられました。「家の近くまで送ってもらえん、買いたかった。」と話す方もおられ、各々が新鮮な食材などを手に入れ、笑顔で帰路につかれています。

今回のテスト運行について、

走る！お買い物バス

水の浦地区



これまで準備に尽力されている長崎市社会福祉協議会水の浦支部 岩永和男支部長は「参加者が買い物を満了した表情をしているのが良かった。やっとここまで形になったが、これからが問題。本格稼働ができることを楽しみにしています。」と話されていました。

今回のテスト運行の成功を受けて、水の浦地区お買い物バス、運行準備がより進んでいくでしょう。この活動が地域の連帯感を高め、高齢者の生活の質を向上させる一翼を担うものと期待しています。

今後、水の浦地区の高齢者にとって、水の浦地区お買い物バスは、新たな希望をもたらす活動となるでしょう。

ながさき社協だより

令和6年10月

わたしたちが「高齢者の集いの場」づくりをお手伝いします！

生活支援コーディネーター（以下、「SC」という）は、地域の支え合いを推進する役割を担っており、高齢者やその家族が暮らしやすい環境づくりに向け、地域の「あったらよかね」の実現をお手伝いしています。あなたの地域にも関わらせていただきます！



集いの場が増えればよかね...

あなたの地域でも集いの場を作りませんか？お気軽にSCにご相談ください。



できたばい！ありがとね



SCに社協銭座校区支部から「新たな活動を立ち上げたい」との相談がありました。SCも役員を交えた話し合いの場に同席し、「スマホ講座」の開催を目指すことになりました。

7月19日、銭座地区コミュニティセンターにて、1回目のスマホ講座が開催されました。覚えたことをお隣にも共有し、参加者同士での教え合いも見られました。

生活支援コーディネーター（SC）

スマホ講座の講師選定、参加者のニーズ、希望日などの情報を整理してマッチング！！

このように...

SCが地域活動のお手伝いをさせていただき、集いの場をきっかけに地域の中で支え合いの輪が広がるよう今後もサポートさせていただきます。

【問い合わせ先】地域福祉係 生活支援コーディネーター ☎095-828-1281

作成物② 支えられ上手のチェックリスト

支え合いはフレイル予防の第一歩！

支えられ上手の チェックリスト

社会参加はすぐに始められるフレイル予防です。身近な人の支え合いが健康につながります。しかし、他者から支えられることに慣れておらず、助け合いが苦手だと感じる方も多いのではないのでしょうか。

支え合いは「**適度なお節介のかけ合い**」とも言えます。まずは、相手のお節介を受け入れるのがスタートです。

さあ、自分の「**支えられ上手度**」をチェックして、助け合い上手になりましょう！

よかよ！
お互い様たい



ありがとね
迷惑かけたね

自分の 支えられ上手度を 確認してみましょう

すべての回答が **青色** の結果になれば支えられマスターです！
一回だけでなく定期的にチェックしましょう！

Q1	自分に向けられた善意は素直に受け入れている。	はい	いいえ
Q2	助けられたら「すみません」ではなく「ありがとう」と言う。	はい	いいえ
Q3	地域のイベントや集まりに積極的に参加している。	はい	いいえ
Q4	自宅に知り合いを入れることに抵抗がある。	はい	いいえ
Q5	さびしい時に誰かに「会いたい！」と声をあげられる。	はい	いいえ
Q6	気軽に「助けて！」と言える相手を一人は見つけてある。	はい	いいえ
Q7	サロンや趣味グループ、老人会などの活動に参加している。	はい	いいえ
Q8	終日、誰とも会話しなない日がある。	はい	いいえ
Q9	今のうちに人に尽くしておこうと活躍している。	はい	いいえ
Q10	日常の暮らしのなかで、人や地域と接している場面を書き出してください。 (例)・道端や畑でおしゃべり ・〇〇さん家でお茶のみ	5個以上	5個以下

作成物③ 啓発動画の作成



長崎市社会福祉協議会
のYouTube
にアップ



長崎市社会福祉協議会 YouTube₁₃

広報

ながさき



4

令和6年(2024年)

NO.879

原のSNSはコチラ



Nagasaki City

人とまちをつなぐ長崎市まるごと情報紙



特集

令和6年度当初予算と3つの重点プロジェクト
選ばれるまちを目指して

主な記事の内容

P.16 被爆者のかたなどの健康診断
P.17 交通費助成のお知らせ

P.18 生活支援コーディネーター
P.19 みんなでつくろう安全安心なまち

(折り込み)
けんしん特集号 ほか

お困りごとは生活支援コーディネーターにご相談を

地域包括ケアシステム推進室 ☎ 829-1421

生活支援コーディネーターは、医療や介護が必要になった高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる体制を整えています。地区ごとに、担当の生活支援コーディネーターが活動しています。

生活支援コーディネーターの活動内容

地域にある
サービスや活動を
周知!

元気な高齢者へ
活動の場を
紹介!

地域の関係者を
つなげる!

地域の
困りごとを
把握!

地域の困りごとを
解決できるように
マッチング!

近隣地域との
連携!

水の浦地区の事例



坂を上り下りして
買い物に行くのが
大変か...



生活支援コーディネーターが
地元の自治会長や近隣の福
祉施設などと一緒に、解決策
を検討!

水の浦地区で、
「お買い物バス」
の運行開始!

送迎を担う地元の社会福祉法人
や、利用者の調整を担う連合自
治会の協力により、毎週水曜
日にスーパーへ買い物に行くバ
スの運行がスタート。



雨が降っても
安心して買い物
に行けるばい!



地域の困りごとを解決する仕組みづくりなどでお困りのときは、まずご相談を!

市社会福祉協議会(生活支援コーディネーター) ☎828-1281(平日 午前8時45分~午後5時30分)



研修参加（令和5年度実績）

研修名

多世代が食でつながるコミュニティづくり

SCカフェ（全国のSCに向けた研修）

重層事業における地域づくり実践講座

豊中市型コミュニティソーシャルワーカー実践研修会

長崎県主催 助け合い活動強化事業 情報交換会

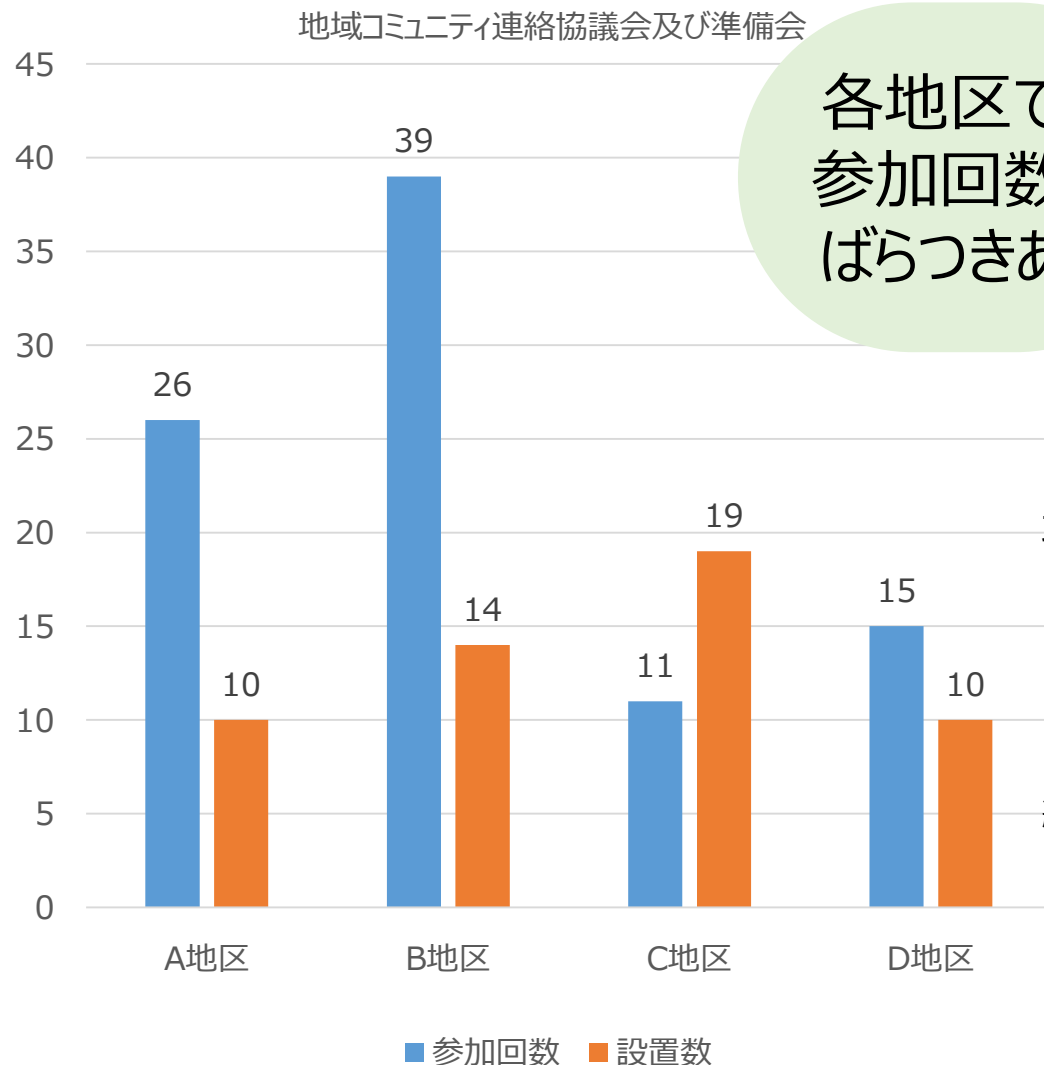
いきがい・助け合いフェスタ（さわやか福祉財団）

長崎市まちづくり担当職員研修

市民の参加と協働を進める コーディネーション研究集会

地域包括ケアシステムの充実にに向けた生活支援体制整備事業の重要性について

地域コミュニティ連絡協議会及び準備会への参加状況（令和5年度）



【考えられる要因】

- ・予定のバッティング
- ・SCの変更
- ・地区内の結束が強く新たに介入が困難 等

地域コミュニティ連絡協議会及び準備会

● 設置数（R6.12.2時点）

地域コミュニティ連絡協議会 48か所
準備会 5か所

総回数は不明

（参考値 地域コミュニティ推進室が支援した回数
協議会107回、準備会154回）

地域包括支援センターとの連絡調整回数（令和５年度）

地区名	包括名	合計	地区名	包括名	合計
A地区	東長崎 38回	93回	C地区	大浦 6回	31回
	日見・橘 20回			戸町・小ヶ倉 2回	
	桜馬場 7回			土井首 17回	
	片淵・長崎 7回			深堀・香焼 3回	
	小島・茂木 21回			南部 3回	
B地区	西部 22回	135回	D地区	江平・山里 14回	49回
	岩屋 37回			西浦上・三川 3回	
	滑石・横尾 38回			緑が丘 8回	
	三重・外海 11回			淵 10回	
	琴海 27回			小江原・式見 14回	

高齢者サロン及び社協支部への訪問回数（令和５年度）

地区名	高齢者サロン		社協支部	
	訪問回数	エリア内の箇所数	訪問回数	エリア内の箇所数
A地区	25回	36箇所	28回	17箇所
B地区	40回	46箇所	19回	12箇所
C地区	22回	35箇所	19回	18箇所
D地区	34回	48箇所	16回	12箇所
合計	121回	165箇所	82回	59箇所

議題 2

生活支援体制づくりについて
(生活支援コーディネーターの充実)

課 題

生活支援体制整備における課題

- (1) 介護人材の不足
 - (2) 生活支援ニーズの増加
 - (3) 介護保険ではカバーできないサービス
 - (4) 地域での支え合い
 - (5) 第1層及び第2層SCの連携・協議体 等
- 【第1層の取組み】
- ・地域福祉計画との整合性
 - ・高齢者版ファミサポの検討
 - ・第2層SCの配置拡充、役割・資格要件検討
 - ・訪問型サービス・活動B、Dの検討

(1) 生活支援ニーズの把握

多様な主体と連携して地域コミュニティ連絡協議会や地域ケア推進会議、地域の会議等に参加しながら生活支援ニーズを把握する

(2) 地域資源等の情報収集と情報発信

生活支援に関する活動団体及び利用できる活動場所の地域資源等の情報を収集し、市民への情報提供及び周知を行い、情報を発信する

(3) 地域活動の支援

地域の自主グループ等に支援を行い、生活支援ニーズの解決に繋げる

(4) 関係者間のネットワークの構築

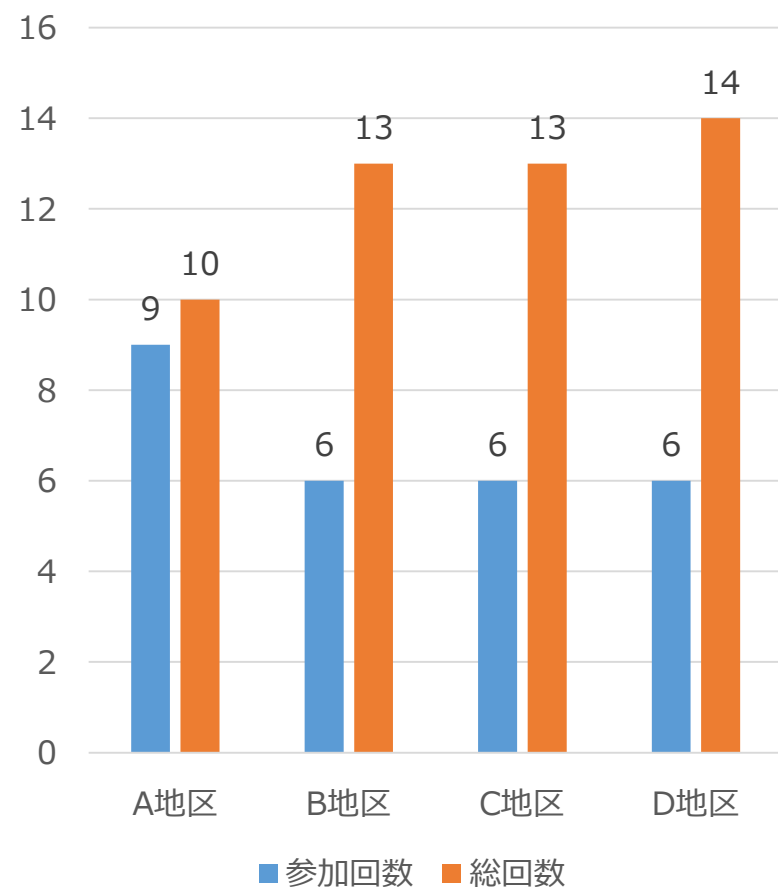
多様な主体に対して協力を働きかけるとともに、関係者が集まる場等に参加して情報共有や連携の体制づくりを行う

(5) 会議・研修への出席

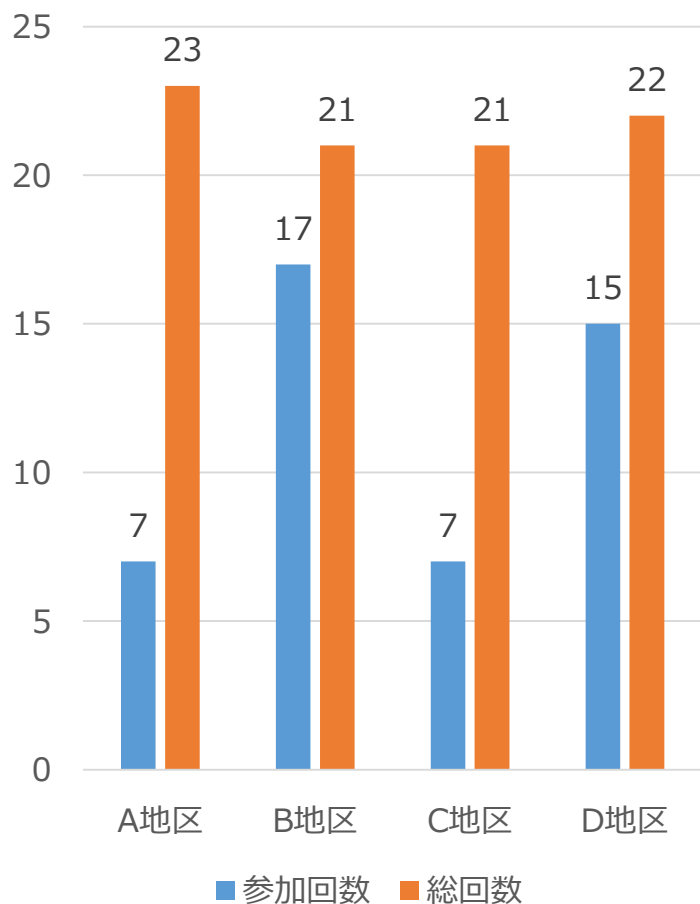
第1層協議体や国・県・関係機関が主催する研修会へ参加する

地域ケア推進会議及び自立支援型地域ケア会議 への参加状況（令和5年度）

地域ケア推進会議



自立支援型地域ケア会議



参加率
全体の
約50%

その要因の1つとして考えられるのは、1人のSCが5つの圏域を担当しており予定がバッティングしている等の要素が挙げられる。

会議等の予定のバッティング状況

地区名	2つの予定がバッティング	3つの予定がバッティング
A地区	1	1
B地区	6	1
C地区	3	0
D地区	1	0
合計	11	2

調査期間：1か月（R6年9月）

👉 1か月のうち、予定がバッティングし参加できなかった会議等は**合計15回**あり。

👉 1年間ではおよそ**180回地域の会議等に参加できない**ことが予測される。

SCの拡充について

地域活動を推進していくために必要なこと・・・

地域住民や多様な主体との関係性を構築すること

関係性が構築されることで、

- 1 より地域に沿ったニーズや地域資源の把握を行うことができる
- 2 新たな活動の提案等も受け入れてもらいやすくなる（聞いてもらいやすくなる）

⇒できる限り地域に密着した形での第2層SCの配置拡充が必要

第9期介護保険事業計画(R6~8年度)の基本方針

(1) 長崎版地域包括ケアシステムの深化・推進

- (2) 自立支援・重度化防止に向けた介護予防の推進
- (3) 人生会議（ACP）の普及啓発
- (4) 権利擁護の推進
- (5) 介護サービス基盤の計画的な整備
- (6) 介護人材の確保及び介護現場の生産性の向上
- (7) サービスの質の確保
- (8) 災害・感染症に対する備え

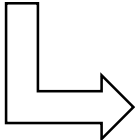
重点的取組み： (1) 長崎版地域包括ケアシステムの深化・推進

在宅医療と介護 の連携推進	自立支援・重度化防止 に向けた介護予防の推進	生活支援体制整備	地域共生社会の構築
◆在宅医療・多職種連携の推進 ◆在宅医療と介護の連携推進 ◆4つの場面（「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」）ごとの課題解決に向けた取組み ◆人生会議(ACP)の普及啓発(「元気なうちから手帳」の活用)	◆地域リハビリテーションの推進（「在宅支援リハビリセンター」の活用、口腔・栄養の充実） ◆自立支援型の地域ケア会議への取組み ◆介護予防・日常生活支援総合事業の実施	◆地域での支え合い体制づくりの推進（「生活支援コーディネーター」の配置拡充に向けた検討） ◆地域づくりの自助・互助の活動の醸成とあわせて、多様な主体と連携した活動の充実	◆地域共生社会の実現に向け、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築 ⇒ 重層的支援体制の整備（「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の一体的実施） ⇒ 「多機関型地域包括支援センター」の充実検討

第9期計画においても、・・（中略）・・第2層生活支援コーディネーターについても、その活動の充実や、**できる限り地域に密着した形での配置拡充**に向けた検討を進め、多様な主体や地域の資源などをつなぐ調整役、地域づくりを進める推進役、介護予防・地域づくりの専門的視点を持ったサポート役としての機能を発揮し、支え合い体制づくりを推進していきます。

（第9期介護保険事業計画より抜粋）

できる限り地域に密着した形での配置拡充



【目標】

各日常生活圏域（20カ所）に1人ずつ

第2層生活支援コーディネーターを配置する

配置先（案）

- ・長崎市社会福祉協議会
- ・地域包括支援センター
- ・公募 など

【参考（中核市調査）】

- | | | |
|--------------------------|-------|-------|
| ・社会福祉協議会 | | 36自治体 |
| ・地域包括支援センター | | 15自治体 |
| ・社会福祉法人、地縁組織、
住民、直営等 | | 各1自治体 |
| ・合同（社協、社会福祉法人、
医療法人等） | | 2自治体 |

生活支援コーディネーター拡充の方向性

◆検討事項①

エリアの考え方

(現在) 第2層SC 1人あたり5つの日常生活圏域を担当

◆検討事項②

職種の考え方

(現在) 第2層SCは「社会福祉士」を保有しているものとしている

◆検討事項③

契約・選定の方法

(現在) 長崎市社会福祉協議会への1者随意契約

【参考】 各事業所へ配置時のメリットデメリット

1 長崎市 社会福祉 社協議会

- SC同士や社協の地区担当（地域づくり）との情報共有が容易にできる。
- 北部や南部など、事務所から遠方となるため移動に時間がかかる。

2 地域包 括支援セン ター

- 各圏域に配置された場合、地域との関係性の構築がしやすい。
- 地域住民の身近にいるため、相談がしやすくなる。
- 生活支援ニーズ・地域課題・地域資源等の把握、地域活動への支援など、包括の地域づくり支援業務とSC業務は多くが重複・関連している
- 各圏域の配置が困難な場合、包括圏域外も担当になる等調整が必要になる。

3 公募

- 生活支援に積極的な団体が実施することにより、より一層の地域づくりが可能となる
- 希望する団体が少ない場合担当エリアの範囲が広がる

【参考】 地域包括支援センター別 高齢者人口及び高齢化率・介護保険認定率

令和6年3月31日現在

地域包括支援センター名	現SC担当地区	地コミ数(準備会含)R7.2	全人口	高齢者数	高齢化率	認定率	(参考) 担当在リハ
片淵・長崎	A	1	24,084	7,975	33.1	21.3	長崎リハビリテーション病院
桜馬場	A	1	20,780	7,102	34.2	22.3	
大浦	C	5	19,449	7,435	38.2	23.3	
小江原・式見	D	3	12,188	4,896	40.2	19.9	小江原中央病院
淵	D	1	14,304	4,395	30.7	22.9	
西部	B	1	21,725	7,525	34.6	22.0	
小島・茂木	A	2	22,571	8,913	39.5	22.3	サンブライト愛宕Ⅱ
戸町・小ヶ倉	C	3	20,062	6,522	32.5	21.6	
江平・山里	D	1	32,285	9,292	28.8	22.5	三原台病院
西浦上・三川	D	3	31,596	11,041	34.9	19.3	
滑石・横尾	B	3	18,770	7,106	37.9	20.2	虹ヶ丘病院
緑が丘	D	2	18,646	6,743	36.2	21.9	
岩屋	B	1	21,067	7,198	34.2	18.4	
東長崎	A	3	23,427	5,936	25.3	20.2	和仁会病院
日見・橘	A	3	20,651	6,491	31.4	19.2	
土井首	C	1	13,304	5,218	39.2	16.9	長崎記念病院
深堀・香焼	C	4	9,065	3,712	40.9	22.0	
南部	C	6	13,729	6,571	47.9	20.3	
琴海	B	4	11,775	4,351	37.0	21.7	日浦病院
三重・外海	B	5	22,938	7,028	30.6	19.5	